

交通指導員を紹介します！



交通事故が起きないように、登下校中の子どもたちに危険がないか、見守ってくれている交通指導員さん。地域の交通安全のために日々活動しています。

問町民課 ☎内線237
交通指導員とは？

交通指導員は、児童生徒の安全の確保や交通事故の防止、交通安全への意識を高めるため、交通安全協会と一緒に各季の交通安全運動、街頭指導をはじめ交通安全教室の開催、地域行事での交通安全整理などに活躍されています。

また、交通問題に理解と関心が高く、指導力があり、かつ奉仕の精神がある方で、交通安全協会会長と警察署長の推薦に基づき選ばれます。
今号では、大磯地区交通安全協会会長の小川さん、交通指導部長の小島さんにお話を伺いました。

Q 交通安全協会の活動を教えてください。

各季の交通安全運動、広報活動、街頭指導をはじめ、交通指導員や交通安全母の会などの関係団体と一緒に交通安全街頭指導、町や地域行事での交通安全整理などの交通安全活動を行っています。



夏の交通事故防止運動街頭啓発キャンペーン



二輪車交通事故防止啓発キャンペーン

大磯地区交通安全協会会長
小川さん



Q 地域にとって交通指導員はどんな存在ですか？

交通指導員は制服を着て交差点に立つことに意味があります。車の運転者や歩行者の目に入るだけで交通安全に対する意識を強くすることができます。また、保護者の皆さんも交通指導員が交差点に立っていることで、安心してお子さんを学校へ送り出せると思います。

Q 交通指導員として伝えたいことは何ですか？

交通指導員は、まちの安全を守る重要な役割を担っています。近所の子どもたちが交通事故にあうのかもしれないと思ったら、無関心ではいられません。私たち交通指導員は、そんな交通事故の恐怖から子どもたちを守ってあげ、地域の人たちを守っています。

また、若い方も、女性の方も交通指導員の活動にぜひ参加してもらいたいと思います。



交通指導部長
小島さん

交通指導員募集中!!

☎大磯地区交通安全協会
(73) 1350

応募をお待ちしています！



▼応募要件
20歳〜75歳で交通問題に理解と関心が高く、健康で活発な行動ができる方（性別は問いません）
▼任期 3年（再任可）
▼その他 母親の立場から交通安全活動を推進している「交通安全母の会」も募集しています！

自転車の交通事故が増えています！

大磯町では、全体の交通事故の件数は減少傾向ですが、自転車事故の割合は比較的高い状況となっています。

自転車は、身近な乗り物で子どもから大人まで利用できる便利なものです。しかし、その手軽さゆえ、一歩間違えば大きな事故を起こしかねません。基本的な自転車の交通ルールとして定められた「自転車安全利用五則」を守り、自転車の定期的な点検を実施しましょう。

自転車の点検してますか？
ぶたはしゃべる

自転車のちょっとした不具合で事故を招くことがあります。「ぶたはしゃべる」をあいことばに、自転車を安心して乗るため、定期的な点検を心がけましょう。

- ぶ …… ブレーキ
- た …… タイヤ
- は …… 反射材、ライト
- しゃ …… 車体（ハンドル、サドル、チェーン）
- べる …… ベル（警音器）

自転車安全利用五則

1 自転車は、車道が原則 歩道は例外



「自転車及び歩行者専用」の標識がある歩道は、自転車で通行することができます。

●自転車は「(軽) 車両」です。車道を通行しましょう。

2 車道は左側を通行



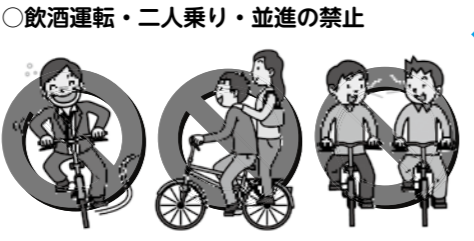
●車道の左端を通行し、右後ろからくる車にも注意しましょう。

3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行



●歩道を通行するときは、歩行者の通行を妨げないようにしましょう。

4 安全ルールを守る



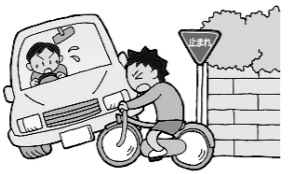
○飲酒運転・二人乗り・並進の禁止

○夜間はライトを点灯



●ライトのほか、自転車の側面に反射材をつけましょう。

○交差点での信号遵守と一時停止・安全確認



●交差点では必ず一時停止をし、他の車両の有無や動きをしっかりと確認しましょう。

5 子どもはヘルメットを着用



●子どもが自転車に乗るときや、子どもを補助しす等に同乗させるときは、安全確保のために保護者が積極的にヘルメットを着用させましょう。

